



足立

# 区議会だより

発行/足立区議会  
https://www.gikai-adachi.jp No. 304

第11回  
定例会

再生紙を使用しています



春の荒川河川敷

足立区議会写真部 石毛かずあき 撮影

## 区長提出議案を可決

### 令和3年度足立区一般会計予算 (8面参照)

足立の力を結集し、コロナ禍のその先を見据え、新たな一歩を踏み出すための、ワクチン接種及びPCR検査体制確保、あだち30買<sup>サンプル</sup>い物券の発行、行政サービスのデジタル化等を実施する予算です。

### 足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言 (8面参照)

## 議員提出議案を可決

### 新型コロナウイルスワクチン接種

### 事業経費の全額負担とワクチン等の安定供給等を求める意見書

#### 令和3年第1回 定例会のあらまし

第1回定例会は、2月19日から3月23日までの33日間で開会しました。

本会議初日の区長あいさつの後、各会派の代表議員、無会派の議員が、3日間にわたり区政全般について質問を行いました。

今定例会では、令和3年度足立区一般会計予算案等、4会計予算案について、原案のとおり可決しました。その他の区長提出議案44件についても、すべて原案

のとおり可決しました。

また、議員提出議案4件のうち、全会一致で3件を可決し、1件を継続審査としました。

請願・陳情40件については、1件を採択、5件を不採択、32件を継続審査とし、2件の撤回を承認しました。このほか、副区長の選任並びに、教育委員会教育長及び教育委員会委員の任命にそれぞれ同意しました。

#### 寄附行為の禁止

議員(候補者等を含む)からの寄附は、公職選挙法により、議員資格剥奪の罰則をもって禁止されています。たとえば入学式・卒業式の行事に対し、寄附・お祝い・差し入れ等を行うことが禁じられています。区民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

#### ●主な内容●●●●●

2面 ● 区政を問う (各会派代表・一般質問)

5面 ● 議決結果

6面 ● 副区長の選任に同意

● 教育委員会教育長の任命に同意

● 教育委員会委員の任命に同意

● 意見の分かれた案件

7面 ● 予算特別委員会の討論 (要旨)

8面 ● 令和3年度各会計予算

● 令和3年度各会計予算

● 予算特別委員会審査

● 予算特別委員会委員の名簿

● 令和2年度足立区議会

● 情報公開制度実施状況

● 委員会活動

● 足立区二酸化炭素

● 排出実質ゼロ宣言

# 問

令和3年2月19日、22日、24日に開会した第1回定例会本会議で代表・一般質問を行いました。

## 代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各党派を代表する議員と無党派の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。以下、その要旨を掲載します。

### 新年度予算に込めた想いは

【問】新型コロナウイルス感染症の影響が深刻であるが、その状況下で編成された令和3年度当初予算案のタイトル『乗り越え、そして踏み出す。あだちから』に込めた区長の想いを伺う。

【区長】足立の力を結集し、コロナ禍のその先を見据え、新たな一歩を踏み出そうという想いを込めた。協働、協創の視点を大切にしながら、業種業態に寄り添ったきめ細かい対策を打ちつつ、コロナ終結に向けて一層力を入れていく。コロナ禍からの次の一歩として、オンライン等を使った新しい区民サービスの向上にも積極的に踏み出すのが予算の特徴である。厳しい状況であるが、その先の希望を区民、地域の方々に示していくことが行政の使命であるため、そうした意味で予算案を構築した。

### 西新井駅ビル計画を明らかに

【問】①西新井駅西口の東武ストアが解体され1年が経過するが、東武鉄道から将来計画について一切説明がない。東武鉄道とどのように協議しているのか。②今後の計画を対外的に説明するよう東武鉄道に強く働きかけるべきではないか。

【市街地】①協議状況は、仮設エスカレーター整備に関する協定締結を5月頃に予定している。

## 足立区議会自由民主党

### 未来へ進もう!!安全・安心

### なワクチン接種を早期に!!



自由民主党

かねだ

正 議員



駅ビルと交通広場整備の課題について今後も協議を進める。

【問】①高齢者の新型コロナウイルスはどうか。②一般の区民のワクチン接種はいつ頃できる見込みか。③接種率を高めるには集団接種と並んで個別接種の強化が重要であるが、区の考えはどうか。④個別接種についての医師会との調整・連携はどうか。

【ワクチン】①優先接種対象の65歳以上の高齢者には3月下旬に接種券を発送し、4月17日から集団接種を開始予定である。②4月下旬以降、順次接種券を発送し、遅くとも7月上旬からの接種開始を想定している。③個別接種は集団接種と並んで重要な柱と認識している。ファイザー社製ワクチンを使用した個別接種の条件が緩和されたため、接種体制を早期整備すべく医師会と協議を進めていく。④副反応発生時の緊急医療体制も含め、医師会感染症対策委員会とのWeb会議を毎週月曜日に行い、検討を重ねていく。

※ワクチン接種に関する答弁は、令和3年2月19日現在のものです。

### 動物愛護ボランティアに支援を

【問】コロナ禍でペット動物の需要が高まる一方、飼育維持が困難になる人が多くなり、野良猫が増えている。野良猫の保護・譲渡のボランティアが不妊去勢手術を行い地域に戻しているが、区の不妊去勢手術費助成が全額ではなく、差額を負担している。手術と同時にノミ駆除等の医療費や移送費等も負担しており、ボランティアに財政的な支援が必要ではないか。

【衛生】現在実施している不妊去勢費用の助成に加え、医療費等への支援を検討する。

### 効果的なICT教育とは何か

【問】国のGIGAスクール構想を受け、令和3年度から児童・生徒が一人一台のタブレット端末を活用したICT教育を進めていくことになる。区教委の考えるタブレット端末の教育的効果のある活用方法とは何か。

【教育長】タブレット端末の教育的な効果は、児童・生徒一人ひとりの興味や関心、学習進度に応じた学びに活用されるときに最も高まると考える。その前提として、授業の中で適切に活用していくことが必要である旨、外部有識者から指摘があったことから、まずは足立スタンダードの授業での活用を中心とした方策を基本方針に盛り込んだ。



## 災害対策のデジタル化と

### 千住の未来を見据えた施策



自由民主党

渡辺

ひであき 議員



無電柱化で安全な千住の街に

【問】北千住駅西口周辺地区は、ミストの設置や駅前照明のLED化等で街の魅力が格段に上がったが、さらに多くの人が訪れることで災害対策上の課題も増している。千住一丁目タワーマシオン周辺については、無電柱化が行われると聞くが、北千住駅西口周辺の地域は多くの方が回遊しており、安全安心を担保するためにも無電柱化は必須と考えるがどうか。

【都市建設】旧道沿い等、北千住駅西口周辺地区は、幅員の狭い道路や歩道のない道路が多いため、技術面において多くの時間と費用が必要となるが、無電柱化は必要不可欠と考えており、着実に取り組んでいく。

【問】北千住駅から千住大橋駅までには松尾芭蕉「奥の細道」出立の地や旧日光街道宿場町としての歴史的資源がありながら活かしきれていない現状がある。今更でクローズアップされなかった参勤交代も織り交ぜアピールすることでリアルな宿場町としての魅力を高められるのでは。

【産業経済】現在、足立成和信用金庫主体で、日光街道各宿場の来街者の増加を狙った「御宿場印」の販売企画が進められており、区観光交流協会が全面協力している。今後、参勤交代等の史実を多くの方に知ってもら

えるよう努め、千住地域の魅力を積極的に発信していく。

### 区民の命を守るデジタル化とは

【問】東日本大震災から10年を迎える。教訓を活かすのはもちろんのこと、その事実を決して風化させてはならない。区民の生命と財産をどのように守って、当然のことながら、災害対策の要望が様々な形で膨らんでいる。その中で災害情報システムの再構築が進んでいるが、最も大切なことは地域防災計画と連動し

た運用とオペレーションの互換と書き換えの容易さである。それらは担保されているのか。

【危機管理】新たな災害情報システムは地域防災計画に連動し、職員が対応すべき行動をチェックリスト形式で表示する。また、計画の修正に速やかに対応する等、オペレーションの互換と書き換えを容易に行える機能を担保したシステムとする予定である。

## 竹の塚エリアの今後と未来に向けた環境政策について



自由民主党

くじら

実 議員



見通しの良いエリアデザインに

【問】いよいよ令和3年度末に竹ノ塚駅が高架化され、時を合わせるように竹の塚エリアデザイン計画が策定される。計画は30年先を見据えて策定されるが、地域の方に短期的な事業を明らかにすることも重要であり、短期・中期・長期的な取り組みを示す計画とすべきではないか。

【政策経営】計画策定にあたっては、地域の意見を十分に聞き、駅前広場整備や今後の人の流れ等を踏まえた上で、短期及び中長期的な視点を取り入れ、まちづくりの取り組みをわかりやすく示していく。

【鉄道立体】工事は、赤山街道と駅舎の間が令和5年度から、その他の区間は鉄道高架化工事の進捗にあわせて順次、着工可能となる。早い所では令和6年度の利用開始を目指し、東武鉄道と協議を進めていく。

竹ノ塚駅の高架下利用は

【問】竹ノ塚駅高架化の後に区民が期待するのは、まちづくりとともに高架下の利用方法である。高架下の利用に関する工事の時期や実際に区民が利用できるのはいつ頃になるのか。

【問】脱炭素社会の実現を目指す、国は「2050年カーボン

未来に向けた環境政策



# 代表・一般質問(要旨)

# 区政を

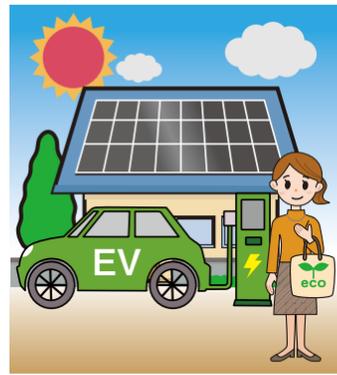


本会議の録画中継を  
区議会ホームページでご覧いただけます  
<https://www.gikai-adachi.jp>

解説

\*サウンディング型市場調査：区有地の活用等について、事業者との意見交換を通じて、様々なアイデアや意見を把握する調査

ニュートラルに伴うグリーン成長戦略」で、あらゆる政策を盛り込んだ実行計画を策定した。都では「ゼロエミッション東京戦略」を策定し、地球環境に優しく快適な街を構築し、災害に負けない強い都市を目指している。区では、平成20年に「環境サミットイン足立」の宣言文を出しており、今定例会の本会議で2050年にCO<sub>2</sub>排出ゼロを目指す議会との共同宣言を提案しているが、この宣言に基づいて今後どう取り組んでいくのか。



【環境】まず気候変動に対する危機意識の共有を目指すべく考えている。SDGsの理解促進に関する各事業等において、強く意識啓発を図っていく。加えて、エネルギー使用量の削減、化石燃料を使わないエネルギーの利用促進、資源循環型社会への転換を目指し、宣言に掲げた3つの取り組みについて2030年までの具体的な施策と2050年までの中長期的な方向性を、環境基本計画に盛り込んでいく。

## 足立区議会公明党

### 希望ある幸齢社会の実現と魅力あふれるまちづくり!

公明党 長井 まさのり 議員



地域の要望に応じた六町駅前

【問】六町駅前区有地は、平成28年にサウンディング型市場調査を実施したが、今日まで年月が経過し、地域の環境も変化している。改めて民間企業への調査とともに、地域の意見も聞くべきかどうか。

【資産管理】平成28年度と令和元年度に2回実施したサウンディング型市場調査は時間的な経過に伴い社会情勢や市場及び区民ニーズの変化が想定される。令和3年度に改めて民間企業へサウンディング型市場調査を実施し、一昨年に実施したオープンハウス型説明会についても再度

開催し、市場と区民ニーズを踏まえた活用案の検討を進める。様々な人権課題への対応を

【問】区の人権擁護委員は、弁護士や元校長等、現在16名だが、多様な性のあり方の上からも、LGBTQの当事者や専門的な知識を持つ方も加えてはどうか。

【総務】多様化、複雑化する人権課題に対し、各課題に関する当事者や専門的な知識を持った人材の確保も大切な視点だと認識している。引き続き、人材情報の収集に努め、適任者を推進していく。

【問】死亡に伴って区役所等で

行う手続きは、窓口が複数にわたり、大変煩雑である。ご遺族の心身の負担を少しでも軽くするために、事務手続きを簡素化する(仮称)おくやみコーナーを設置し、手続きの軽減を強く要望するが伺う。

【区民】「ご遺族支援コーナー」を設置し、ご遺族の手続きを軽減する取り組み実績のある大和市や近隣自治体の先行事例を参考にしながら、ご遺族の負担軽減が図れる仕組みの導入を検討する。

【問】65歳以上のインフルエンザ予防接種の無料化は、区が決定した後、都の補助事業として実施することとなった。もし都が令和3年度以降も事業を継続する場合は、区の事業を子どもへのインフルエンザ予防接種の無料化、特に受験生やひとり親世帯の子ども等を対象に切り替えるべきだが伺う。

【衛生】子どものインフルエンザ予防接種への補助は、都の65歳以上対象の補助事業が継続された場合、財政負担を考慮し、提案の内容を含め検討する。



【問】区内には医療的ケア児が通える放課後等デイサービスが1カ所しかなく、保護者からは拡充を求める声が上がっている。

放課後等デイサービスの開設費・運営経費を補助する等、さらなる拡充を図ってはどうか。

【障がい】運営事業者から、支援に必要な人員を配置するための国の報酬が十分でなく、事業運営上厳しいと聞いている。

【問】令和3年度の報酬改定では、医療的ケア児の受入れを評価した報酬が導入される等の情報を得ている。引き続き、状況把握に努めつつ、支援策を検討していく。

不安のないワクチン接種を

## 不登校の支援と防止の更なる徹底・区北東部の課題

公明党 吉田 こうじ 議員



不登校支援を拡充せよ

【問】不登校支援は、子どもの支援と同時に保護者も含めた家庭への継続した支援も重要である。教育相談のICT活用が進む中、教育相談だけでなく、家庭環境等に対する意見を聞きながら、不登校児童・生徒の保護者へ家庭教育支援の視点でアドバイスする等、自宅へのアウトリーチの支援も必要だが伺う。

【げんき】令和3年度から外出困難な不登校児童を対象に、自宅への家庭教師の派遣とICT学習を組み合わせた家庭学習支援事業を開始する。この事業は民間事業者に委託予定だが、スクールソーシャルワーカーの家庭訪問と併用することで、保護者支援を行いつつ、事業終了後の学校復帰や居場所へのつなぎを支援する。

チンに対する不安があることから体制を整え、区民に情報提供していくべきだが伺うか。

また、接種後にアレルギー等の副反応があった場合に適切な医療機関へつなげるバックアップ体制の確保について伺う。

【ワクチン】日々更新される情報を区ホームページ及びAメールや区公式SNSを活用して積極的に発信していく。また、区医師会との連携により、アナフィラキシーショック等の副反応発生時の救急医療体制を構築していく。

江南地域における防災・減災・避難対策の強化を!

公明党 石毛 かずあき 議員



事業推進で安全安心の確保を

【問】①都下水道局が取得した小台浄化センター用地は、大部分が空き地である。日暮里・舎人ライナー足立小台駅付近の高規格堤防等と合わせ、用地の用途変更を都に働きかけ、高規格堤防事業のさらなる推進を国に要望すべきだが伺う。

また、用地を河川運搬に対応



のある都道や今まで路線バスが曲がったことのない交差点、歩道がない道路をバスが通行する計画が検討されているが、地域の安全安心のために対策に万全を期すべきだが伺うか。

【都市建設】①検証運行開始後、実際の運賃収入をもとに収支率を算出するが、既存の路線バスにコロナ禍による影響等も参考にしながら収支率の評価を行う。

②今回の検証運行のバスルートは、一部、今まで路線バスが走ったことのない道路や歩道のない道路も通行するため、今後、検証運行するバス事業者と、バスの位置等を確認するとともに、所轄警察署とも協議を行い、安全対策を十分行う。

した小台防災公園として整備することにより、江南地域の安全・安心につながるがどうか。

②新田・小台地区の高規格堤防事業は、事業者に働きかけ等を行い、河川敷地の一体的な活用を推進すべきだが伺うか。

【都市建設】①国及び都と協議を進める中で、用地の用途変更も含めた活用を都に働きかけ、

高規格堤防の整備を国に要望し、小台防災公園の整備を検討する。

②国及び都との協議で、事業者による一体的な利活用の検討を行う等、水防・災害対策の課題解決に努め、江南地域の安全・安心につなげる。

**校舎建て替えの優先順位は**

【問】令和元年第4回定例会で老朽化が進む宮城小学校等の早期建て替えを要望し、「宮城・小台地域の学校は優先度が高い」と認識している。令和2年度までに学校施設更新計画で建て替えの優先順位等を示す。」との



回答だったが現状を伺う。

【学校運営】宮城小学校は荒川の決壊時に避難できる階数が3階に限られることから優先度が高い。足立区版長寿命型改修計画では、令和10年度までに建て替えの完了を予定している。

**日本共産党足立区議団**

**コロナ危機のもと、税金は**

**いのち、くらし最優先に**

日本共産党 浅子 けい子 議員



**施策の優先度を見直すべき**

【問】コロナ禍では、いのちとくらしを最優先に、保険と福祉分野への手厚い支援等の予算編成が第一である。区長は「歳出面の中心は何と言っても新型コロナ」と言うが、予算案に新たなコロナ対策は全くない。高齢者事業の見直しと再構築と称して生きがい奨励金を廃止する等の姿勢が問われる。施策の優先度を見直す考えはないか。

【政策経営】当初予算では新型コロナ対策経費約47億円を計上している。感染状況等を考慮しつつ、議会要望等に基づき、優先順位をつけて見直しており、再度見直す考えはない。令和4年度以降も施策の優先度を慎重に見極め、事業を実施していく。

等、柔軟に対応している。

**実態に即した事業者支援を**

【問】区内事業者は例外なく深刻な状況になっている。「あだち30買物券」以外の新たな事業者支援は販路拡大支援等で実態とかけ離れている。度重なる緊急事態宣言で営業が立ち行かなくなる等の中小事業者に、どうして的確な支援策となるのか。

【産業経済】新たな販路拡大等は、将来を見据えた事業者への重要な支援策と考える。小規模事業者経営改善補助金アンケートの「令和2年度以降新たに実施、または実施しようと考えていること」で、販路等の新規開拓と答えた事業者割合は、2月15日現在最多である。さらなる支援策は金融機関との意見交換等を定期的に実施し、検討する。



**介護保険料の値上げを抑えよ**

【問】①第8期介護保険事業計画の最終報告で介護保険料は月額180円の値上げになると報告された。値上げを抑えるため、国の公費負担を25%として、調整交付金のさらなる上乗せを国に強く求めるべきかどうか。

【衛生】②濃厚接触者と断定されなくても、不安を払拭する必要がある。検査対象を拡大する要があれば、検査対象を拡大する

【福祉】①これまでも、調整交付金は別枠化すること等を要望している。引き続き、要望する。

**地域住民の声を充分取入れた区民が望む都市建設を！**

日本共産党 西の原 えみ子 議員



**これが税金投入した再開発ビル**

【問】①千住一丁目再開発ビルが完成したが、わが党は繰り返し大手デベロッパーのための事業で公共の福祉に寄与するとは言えないと指摘してきた。住民

要望でできた保育所と多目的室は総床面積のわずか1%であり、40億円も税金を投入すべきではない。公共施設施設の位置づけとした400㎡の空地は本当に区民の広場として活用されるのか。

【都市建設】①空地はマンション管理規約で管理組合理事会の承認を得た上で町会のイベント等に使用可能と定められている。

【問】②活用方針では、無電柱化、災害時の帰宅困難者や水害時の避難対策に積極的に取り組むとしている。今後の再開発事業等で

も、地域防災の役割を果たすよう事業者と調整していく。

**地域の要望を最大限取り入れよ**

【問】区は、「旧本木東小学校跡地活用は避難所機能を有する特別養護老人ホームとする。併せて、公園代替地とする」として。避難所機能も切実な住民の要望だが、集会機能を備えた多目的室等、地域の要望を最大限取り入れるべきではないか。

【資産管理】集会機能を備えた多目的室等を明確に公募条件に付する予定はないが、社会貢献による提案を公募条件に付する予定である。



**足立区議会立憲民主党**

**新型コロナ、生活困窮から**

**区民を守る対策強化を！**



立憲民主党 おぐら 修平 議員

【問】コロナ禍の生活困窮相談

の中、多くの方が述べていたのが「行政に相談に行くのはハ

ドルが高い」とのことであった。厚生労働省ホームページには「生活保護の申請は国民の権利です。生活保護を必要とする可能性はどなたにもあるものですので、ためらわずにご相談ください。」と掲載されている。区

ホームページや広報にも同様の内容を掲載するほか、ポスターを作成し、駅等に掲示する等、早い段階で福祉事務所への相談につながるよう、周知徹底すべきではないか。

【足立福祉】厚生労働省のホームページ等を参考に、区ホームページを更新し、周知する。ポスター作成は現在考えていないが、他自治体の状況を確認する。

【問】介護施設の利用者や、外出が難しい高齢者の新型コロナウィルスワクチン接種では、近

**足立区議会改革を全力で推し進める会**

**みんなにやさしい・誰にでもやさしい街・足立区を**

**もやさしい街・足立区を**

議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



**新たな足立を築く**

【問】多様な人が集まる都市部という地の利からも、少数派の特性を持った人が暮らしやすい、誰からも選ばれる区を全力で構築すべきと考えるがどうか。

【区長】障がいを持つ方、LGBTの方等、様々な背景を持つ方々の困難を少しでも解消するため、議員の提案や、様々な団体のヒアリングの結果から、改善するものは早急に改善し、様々な特性を持った方でも暮らし

【問】①子育てガイドブックに色覚の多様性の説明を盛り込むよう強く要望するがどうか。②小・中学校で色覚検査募集プ

隣医療機関や介護施設での接種や、接種会場への移動手段の確保等を検討すべきかどうか。

【ワクチン】訪問診療を受けている患者はかかりつけ医師、入所中の方は施設に配置されている医師又は接種協力医療機関等による接種を想定している。また、外出可能な場合、区内小・中学校を中心に集団接種も実施予定で、近くの施設で接種できる準備を進めている。個別接種開始後は近隣の医療機関等で接種できる予定である。



しやすい区を築くために努める。寄り添う視点や、教育を通じて、思いやりを持って接することができる子どもたちを育てることが重要と考える。様々な施策を複合的、重層的に展開する事で、大勢の方に選択される区を作っていく。

【問】①「子育てガイドブック」に色覚の多様性の説明を盛り込むよう強く要望するがどうか。②小・中学校で色覚検査募集プ

リントと一緒に色覚の多様性の啓発も同時に行い、相談窓口等も知らせる取組みをセットで行うべきだが、区の見解を問う。

【衛生】①子ども家庭部と連携し、令和4年度版から掲載する。

【学校運営】②今後、区で作成した「カラーユニバーサルデザインガイドライン」のURLの周知や、より目に留まりやすいと思われるチラシを作成し配布

無 会 派

交通機関のバリアフリー化と住宅確保要配慮者支援

無 会 派 市川 おさと 議員

誰もが使いやすい交通機関に

【問】区役所本庁舎では、タクシー乗り場のマウントアップ化の整備をした。横からスロープを出して車いすのまま乗れるタクシーの場合、乗り場がマウントアップしていたほうが乗り降りしやすい。区として、可能な限り乗り場のマウントアップ化をすべきであり、足立区発のスタンダードとして普及させるべきと考えるが、今後作られる予定の区内駅前広場等の対応状況はどうか。

【都市建設】国が定めた「道路の移動円滑化整備ガイドライン」により、乗り場の構造については、段差の少ないセミフラット構造が基本となっている。今後設置される区内の駅前広場等の乗り場についても、セミフラット構造を基本とするが、車いすが円滑に乗り降りできるマウントアップも併用する等、多様性

する等、児童・生徒や保護者に色覚の多様性について理解してもらえよう努めていく。



に配慮した乗り場としていく。障害者にも住宅確保支援を

【問】障害者が入居できるとしているセーフティネット住宅は、区内に千住龍田町と中川の2棟しかない。建物がバリアフリーになっていても、大家が障害者を受け入れるか決められるようでは、安全安心とは言えない。区として強気に働きかけるべきと考えるがどうか。

【建築】不動産団体との勉強会等の機会を通じて、制度のメリットを説明し、セーフティネット住宅の登録数の増加に向けて働きかけを実施していく。



第1回定例会での議決結果

区長提出議案

可決したもの

令和3年度予算・補正予算

令和3年度足立区一般会計予算  
令和3年度足立区国民健康保険特別会計予算

令和3年度足立区介護保険特別会計予算

令和3年度足立区後期高齢者医療特別会計予算

令和3年度足立区一般会計補正予算(第1号)

令和3年度足立区一般会計補正予算(第1号)

令和2年度足立区一般会計補正予算(第15号)

令和2年度足立区国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

令和2年度足立区介護保険特別会計補正予算(第3号)

令和2年度足立区後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

条例

あだち子どもの未来応援基金を設置するもの

足立区組織条例の一部を改正する条例

組織改正に伴い、部の分掌事務等を改めるもの

足立区個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

児童扶養手当法による徴収事務等において利用する特定個人情報を追加するほか、規定を整備するもの

足立区職員定数条例の一部を改正する条例

職員の定数を改めるもの

足立区職員の服務の宣誓に関する条例の一部を改正する条例

会計年度任用職員の服務の宣誓の方法に関する特例を設けるもの

足立区放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童支援員の資格に関する経過措置を適用する期間を延長するもの

足立区生きがい奨励金支給に関する条例を廃止する条例

生きがい奨励金の支給を終了することに伴い、足立区生きがい奨励金支給に関する条例を廃止するもの

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

令和2年度足立区議団より

その他の議案

財産の処分について

野外レクリエーションセンターの土地を処分するもの

財産の無償譲渡について

野外レクリエーションセンター建物等を無償譲渡するもの

債権の放棄について

契約解除に伴う違約金を放棄するもの

足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

足立区二酸化炭素排出実質ゼロを宣言するもの

(仮称)足立区介護保険事業者支援施設の大規模改修工事の実施に関する基本協定

(仮称)足立区介護保険事業者支援施設の大規模改修工事の実施のため、協定を締結するもの

債権の放棄について(2件)

足立区生業資金貸付金の未回収金を放棄するもの

債権の放棄について

生活保護法第63条に基づく返還金を放棄するもの

債権の放棄について

生活保護法第78条に基づく徴収金を放棄するもの

足立区立保育所の指定管理者

足立区立保育所の指定管理者

その他の議案

防災街区整備地区計画の変更に伴うもののほか、建築基準法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区保健所運営協議会を廃止するもの

足立区保健所運営協議会を廃止するもの

足立区谷在家三丁目地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

建築基準法の規定に基づく地区計画を実施するもの

足立区営住宅条例の一部を改正する条例

営住宅の使用申込者の資格を追加するほか、規定を整備するもの

足立区河川流水占用料等徴収条例の一部を改正する条例

流水占用料等を改定するもの

足立区景観条例の一部を改正する条例

景観法に基づく届出等を要する行為の完了等を届出の対象とするほか、規定を整備するもの

足立区高野地区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例等の一部を改正する条例

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律施行令の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区に係る防災街区整備地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例

区営運動場の使用料を改定するもの

足立区国民健康保険条例の一部を改正する条例

足立区国民健康保険条例の一部を改正するもの

足立区国民健康保険条例の一部を改正するもの

その他の議案

保険料率を改定するほか、規定を整備するもの

(日本共産党足立区議団より) 反対討論あり

足立区英資金条例の一部を改正する条例

新型インフルエンザ等対策特別措置法の改正に伴い、規定を整備するもの

足立区国民健康保険条例の一部を改正するもの



### 足立区議会 自由民主党

討論者



古性 重則  
委員

本年1月に、昨年に続き2度目の緊急事態宣言が発出され、日本経済に与える影響が懸念されている。政府も、令和3年2月の月例経済報告で「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある中、持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる。」としており、区内中小企業の景況調査からも、深刻な状況が浮き彫りとなっている。

このような状況の中、令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と名付け、新型コロナウイルス感染症対策の強化を継続しつつ、難局を乗り越え、変貌を遂げる足立のまちとともにコロナ禍の先へと果敢に踏み出すための予算となった。

新型コロナウイルス感染症対策、新しい生活様式への対応促進に加えて、令和3年

度の竹ノ塚駅付近鉄道高架化、大学病院開設等のエリアデザイン計画推進、区立小・中学校の改築等を着実に進めるとともに、今後の厳しい財源見通しを踏まえ、公共施設の建設・改修工事の先送り、経常的経費1%削減等、歳出を抑え財源捻出に努めた予算となっており、一定の評価をする。

なお、本委員会において、我が党委員が指摘した、新型コロナウイルスワクチン事業の円滑実施、予算編成について区民目線の情報発信、保育政策の改善、区の魅力のさらなるアピール、ながらスマホ条例の周知啓発及びスマホ依存症対策、バンケット施設の誘致、学力向上対策、竹ノ塚駅高架下利用、持続可能なまち足立の構築、職員の不祥事に対する再発防止の徹底、姉妹都市交流事業の拡大、家庭教育の充実、認知症予防、保育施設の施設更新、災害対策等、様々な提案及び要望事項については、本予算の執行と今後の区政運営に確実に反映するよう強く要望する。

### 足立区議会 公明党

討論者



大竹 さよこ  
委員

足立区では新型コロナウイルス感染症対策として15回に渡る補正予算を組み、医療体制の整備等を行ってきたが、区内経済は深刻な状況が続くと予想される。

区は前例のない事態に直面する中で、令和3年度予算を「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と名付け、コロナ禍の先へと果敢に踏み出すための予算を編成した。

予算編成では、新型コロナウイルス対策として、医療最前線を支える施策を継続し、3割のプレミアム付商品券の発行等、区内経済の支援をしていくとしている。

エリアデザインでは、東京女子医科大学足立医療センターのオープン等、大きな節目の事業の完成が続く。

交通不便地域解消に向けたバス検証運行等、交通弱者対策に取り組むとしている。

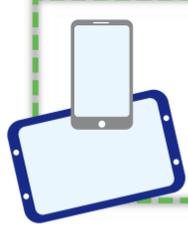
「あだち子どもの未来応援基金」を創設し、学習支援や子ども食堂等の活動団体への助成制度や児童養護施設等から巣立つ子どもたちの支援をするとしている。

「新しい生活様式」を踏まえた区民サービスとしてICTを活用したオンライン申請手続き等、区民ニーズに沿った行政サービス向上に努めて頂きたい。

区民の命と財産を守るため、地震対策のみならず水害対策の強化により、防災・減災対策のさらなる推進を求める。

最後に、本委員会が我が党の委員から指摘し要望した、新型コロナウイルス感染症対策とワクチン接種体制の整備、防災減災対策、高齢者支援のさらなる充実、人権を守る区の姿勢、中小企業支援、子育て家庭への支援、学力向上施策、不登校支援、図書館サービスの拡充、障がい者支援等の提案や要望については重く受け止め、新年度予算の執行やこれからの区政運営に反映されることを強く求める。

## 特別 委員会 の 討論(要旨)



令和3年予算特別委員会の映像を区議会ホームページでご覧いただけます。  
右の2次元バーコードからスマートフォン・タブレットでも視聴できます。  
※令和3年10月に開会予定の決算特別委員会についても、YouTubeでインターネット生中継を行いますのでぜひご覧ください。



※予算特別委員会委員の名簿と委員会の審査結果は8面に掲載しています。

### 日本共産党 足立区議団

討論者



きたがわ 秀和  
委員

令和3年度一般会計予算は過去最高の3千120億円を計上し、さらに積立基金は令和2年度末見込みで1千749億円となった。

新型コロナウイルス対策経費は47億円を計上と言いつつも、区の独自予算はわずか26億円に過ぎず、予算全体を概括すれば、コロナからののち・暮らしを守るよりも開発優先の予算と言わざるを得ない。

高齢者事業の見直し・再構築と称して生きたい奨励金廃止を打ち出したが、65歳以上のインフルエンザ予防接種無料化は新規事業でなく、紙おむつ支給要件の緩和も23区最低の支給要件は変わらない。はるかぜ車両購入費補助、特養ホーム増設までも再構築・見直しの結果のように言うが、生きたい奨励金廃止前にすでに決められていたものばかりで、廃止の理由にすらならない。地方の小さな自治体ですら取り組んでいる直接支援も冷たく拒否し、ひとり親世帯への支援も、予算に新たな施策は盛り込まれていなかった。

わが党は、21事業・計21億円の拡充事業を、不急事業の先送りと財政調整基金の取り崩しで実施する予算の組み換え提案を

上のインフルエンザ予防接種無料化は新規事業でなく、紙おむつ支給要件の緩和も23区最低の支給要件は変わらない。はるかぜ車両購入費補助、特養ホーム増設までも再構築・見直しの結果のように言うが、生きたい奨励金廃止前にすでに決められていたものばかりで、廃止の理由にすらならない。地方の小さな自治体ですら取り組んでいる直接支援も冷たく拒否し、ひとり親世帯への支援も、予算に新たな施策は盛り込まれていなかった。

わが党は、21事業・計21億円の拡充事業を、不急事業の先送りと財政調整基金の取り崩しで実施する予算の組み換え提案を

行った。どれも実現可能なものばかりであり、今後の施策にぜひ生かすべきである。

国民健康保険特別会計予算は、一人あたり保険料は令和2年度よりも3千697円値上げとなり、全体として値上げと言わざるを得ない。20年前と比べてすでに2倍以上の負担であり、これ以上の値上げは加入世帯の暮らし破壊を招きかねず、認められない。

介護保険特別会計予算は、値上げ幅は抑えられたが、「23区で一番高い保険料」であることに変わりなく、到底認められない。

区に対しては、なによりも区民のいのちと暮らしを最優先で守るという立場で施策を進められることを改めて強く求める。

### 足立区議会 立憲民主党

討論者



銀川 ゆい子  
委員

令和3年度予算は「乗り越え、そして踏み出す。あだちから」と名付け、新型コロナウイルス対策強化を最重要施策に掲げ、エリアデザインのさらなる飛躍、新たな区民サービスの向上策等に積極的に取り組み、コロナ禍のその先を見据えたものである。

新型コロナウイルス対策では、住居確保給付金事業や入院患者医療費の公費負担、あだち30買利物券の発行や緊急経営資金融資、患者に対応する医療従事者・医療機関

への危険手当等支給、オンライン申請システムの導入、就学が困難な学生への貸付支援等、様々な施策が打ち出されている。

さらに、ICTを導入し行政サービスの利便性向上の推進、文教大学の開学、東京女子医科大学附属足立医療センターのオープン、竹ノ塚駅踏切解消を中心にあたたかみきたエリアデザイン計画の開花等、コロナ禍にあっても明るい道筋を示すものとなっている。

また、青色パトロールカーの増車、小中学生英語力向上事業の強化、とうきょうママパパ応援事業補助金活用事業等、区民要望にも力点を置いた予算編成を評価する。

今後も各種事業や予算の削減が案じられるが、区民生活への影響が最小限に抑えられることを求める。

また、我が会派から指摘した、高齢者の住まいの確保、福祉事務所のケースワーカー増員、生活保護廃止問題の徹底究明、コロナワクチン接種対策の強化、新たな協創の取組推進、千住大橋地域の公園設置及び更地活用、区内すべての公園・児童遊園への防犯カメラの設置、キッズゾーンの整備、とうきょうママパパ応援事業補助金活用事業への子ども向け区内商品券への転用、学童保育室の円滑な運営、老朽化している住居センターの改修等を強く要望する。

### 足立区議会 議会改革を全力 で推し進める会

討論者



長谷川 たかこ  
委員

新型コロナウイルス感染症の長期化に伴い、限られた財源の中、選択と集中の考えのもと、今まで以上に事業目的を明確化し、最大の事業効果を発揮するよう、事業評価の中での検証を徹底することが重要である。持続可能な財政運営を行うために、将来を意識した計画的な予算編成を行うことが必要である。

区民要望であった子どもを産み育てやすい新たな制度が予算案に盛り込まれた。養

育費の確保支援策、また、とうきょうママパパ応援事業拡充策が組み込まれたことも大変高く評価している。

足立区は、多様な人が集まる都市部という地の利からも、LGBTのみならず、いわゆる少数派の特性を持った人であっても暮らしやすい、誰からも選ばれる足立区を目指し、多様性社会の構築に向けた取り組みを行い、今後も積極的に国や東京都の補助事業を活用し、想像力と知恵と工夫をもつて、実効性ある施策を戦略的に展開することを切に要望したい。

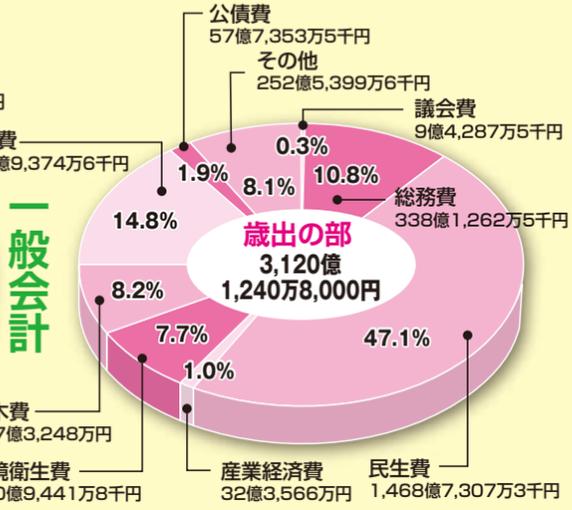
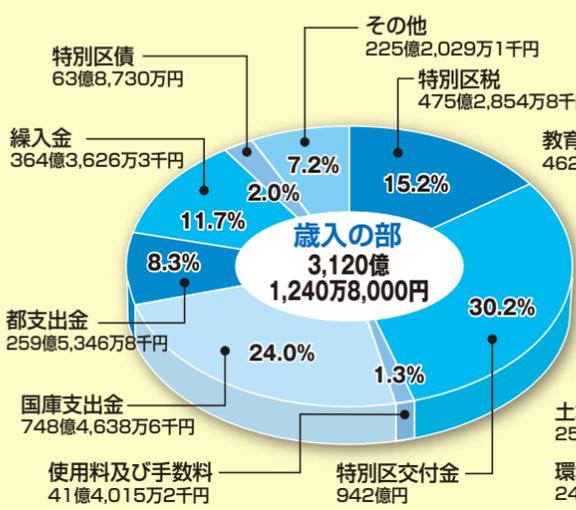
本委員会での質疑をまとめて次のことを指摘する。

ペアレントメンター事業展開について、発達障がい者・家族支援について、発達支援に課題のある子どもと親に対する支援の拡充について、子どもの能力を伸ばすユニバーサルデザインの教育について、読み書きに困難を抱える子どもたちに対する支援について、不登校支援について、子どもを産み育てやすい新たな制度について、3歳児における目の疾病及び異常の早期発見・治療の実施体制の確立について、子どもの育ち支援について、文化芸術の支援について。

以上、委員会での議論の内容を十分に念頭に置き、執行されることを強く要望する。

# 令和3年度各会計予算

\*一般会計予算の数値は、補正予算を含んでいません。  
\*図の構成比率は四捨五入のため、合計が100%にならない場合があります。



区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	歳入歳出総額 312,012,408千円	298,025,066千円	13,987,342千円	4.7%
国民健康保険特別会計	歳入歳出総額 69,695,631千円	71,156,812千円	△1,461,181千円	△2.1%
介護保険特別会計	歳入歳出総額 64,702,020千円	64,794,701千円	△92,681千円	△0.1%
後期高齢者医療特別会計	歳入歳出総額 16,219,154千円	15,908,333千円	310,821千円	2.0%

区分	令和3年度	令和2年度	増減額	増減率
一般会計	歳入の主なもの			
特別区税	475億2,854万8千円			
特別区交付金	942億円			
国庫支出金	748億4,638万6千円			
都支出金	259億5,346万8千円			
歳入の部	3,120億			
歳入の部	1,240億8,000円			
特別区債	63億8,730万円			
その他	225億2,029万1千円			
教育費	462億9,374万6千円			
土木費	257億3,248万円			
環境衛生費	240億9,441万8千円			
産業経済費	32億3,566万円			
民生費	1,468億7,307万3千円			
公債費	57億7,353万5千円			
議会費	9億4,287万5千円			
総務費	338億1,262万5千円			
その他	252億5,399万6千円			
一般会計	歳出の主なもの			
総務費	338億1,262万5千円			
民生費	1,468億7,307万3千円			
土木費	257億3,248万円			
教育費	462億9,374万6千円			

## 委員会活動

委員会名	日程	主な内容(件数)			
		審査	報告	その他	
総務委員会	1月18日(月)	2	5	3	
	1月19日(火)	1			
	2月24日(水)	2			
	2月25日(木)	14	2	5	
	3月23日(火)	5			
区民委員会	1月19日(火)	1	1	13	
	2月26日(金)	2	3	7	
	3月23日(火)	2			
産業環境委員会	1月20日(水)		1	8	
	3月11日(木)	1	1	11	
厚生委員会	1月20日(水)	1	7	8	
	3月12日(金)	8	2	8	
建設委員会	1月21日(木)		1	8	
	3月12日(金)	9	2	15	
文教委員会	1月21日(木)	4	2	3	
	3月15日(月)	1	4	3	
	3月23日(火)	1			
議会運営委員会	1月19日(火)			第1回臨時会について	
	1月28日(木)		3	第1回定例会について	
	2月18日(木)			第1回定例会について、議員提出議案について	
	3月1日(月)		2	第1回定例会について	
交通網・都市基盤整備調査特別委員会	1月22日(金)			7	
	3月16日(火)			4	
子ども・子育て支援対策調査特別委員会	1月22日(金)	1		3	
	3月16日(火)	1		7	
災害・オウム対策調査特別委員会	1月25日(月)		3	3	
	3月17日(水)		3	3	
エリアデザイン調査特別委員会	1月25日(月)		2	7	
	3月17日(水)		2	9	

**令和3年度各会計予算 予算特別委員会審査**

令和3年度各会計予算案4議案を審査するための予算特別委員会が開会されました。3月2日から10日まで延べ6日間、新たに座席の間にアクリル板を設置する等、感染症対策を行いながら審査が行われました。

**委員会での質疑及び審査結果**

令和3年度予算は、「乗り越ええ、そして踏み出す。あだちから」と銘打ち、新型コロナウイルス感染症対策の強化を継続しつつ、難局を乗り越え、変貌を遂げる足立のまちとともにコロナ禍の先へと果敢に踏み出すものとなっています。

本委員会では、新型コロナウイルススワクチン接種及び感染防止対策、基金残高、今後の行財政運営、行政サービスのデジタル化、エリアデザイン、パートナーシップ・ファミリーシップ制度、治安対策、防災施策、子どもの貧困対策、国保制度、健康施策、妊産婦支援、生きがい奨励金、高齢者支援・介護施策、障がい者施策、区内産業の活性化、環境施策、鉄道高架化、いじめ対策、不登校支援、学力向上施策、子育て支援、職員不祥事の再発防止対策等、各委員から、区政全般について幅広く質疑が行われました。

また、はたの昭彦委員ほか2名から令和3年度「一般会計予算」「国民健康保険特別会計予算」「介護保険特別会計予算」の編成替えを求める動議が提出され、賛成少数で否決されました。

質疑終了後、各会派から討論が行われ、4議案が採決されました。(討論要旨は7面掲載)

**本会議での議決結果**

3月23日の本会議において、工藤哲也委員長より報告がされた後、採決が行われました。

その結果、4議案が原案のとおり可決され、令和3年度予算が成立しました。

## 予算特別委員会委員の名簿及び委員会の審査結果

委員長・副委員長	
工藤 哲也	委員長
吉田 こうじ	副委員長
浅子 けい子	副委員長

※自民…足立区議会自由民主党 公明…足立区議会公明党 共産…日本共産党足立区議団 立民…足立区議会立憲民主党 改革…足立区議会議会改革を全力で推し進める会 無派…無会派 ※○…賛成 ×…反対

区分	委員名	審査結果	自民		公明		共産		立民		改革		無派								
			白石	せめ	新井	古性	かね	工藤	長澤	にた	小泉	岡安	大竹	石毛	浅子	はた	きた	おぐ	銀川	長谷	へん
一般会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※委員長は採決に加わりません

## 令和2年度足立区議会情報公開制度実施状況 (令和2年4月1日から令和3年3月31日)

	請求件数	取下件数	開示	一部開示	非開示	不存在	存否非開示	閲覧	視聴	写し	開示率
令和2年度実績	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0%

\* 開示率は、開示と一部開示を合算した件数を、開示・一部開示・非開示の合計件数で除したものです。

## 足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言

令和3年3月23日の本会議で、足立区二酸化炭素排出実質ゼロ宣言を全会一致で可決しました。

閉会後に行われた宣言式典では、鹿浜昭議長と近藤やよい区長が宣言に署名し、東京23区で初となる、議会と区が共同宣言を表明しました。

足立区議会では、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、区とともに連携して「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取り組みを着実に進めてまいります。

地球温暖化対策に区民の皆様のご理解とご協力をお願いします。



▲宣言には、佐々木まさひこ副議長および産業環境委員会各委員、区からは長谷川副区長・工藤副区長が立ち会いました。